



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 伊豆シャボテンリゾート株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6819 URL http://www.izu-sr.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)北本 幸寛
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室室長 (氏名)桑原 亮介 (TEL)03(5464)2380
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,531	5.1	246	30.4	254	—	287	—
28年3月期第2四半期	1,457	3.3	189	91.7	△79	—	△126	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 291百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △129百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	10 09	— —
28年3月期第2四半期	△4 45	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,808	1,113	61.6
28年3月期	1,642	829	50.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,113百万円 28年3月期 822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
29年3月期	— —	0 00	— —	— —	— —
29年3月期(予想)	— —	— —	— —	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	4.0	310	1.4	310	448.3	340	1,183.9	11.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	28,496,537株	28年3月期	28,496,537株
29年3月期2Q	20,483株	28年3月期	20,393株
29年3月期2Q	28,476,130株	28年3月期2Q	28,476,561株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られますが、個人消費の改善につきましては、足踏み状況が見られております。一方、英国のEU離脱問題や、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念や、それに伴う不安定な為替、株式市場等の影響により、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社が展開するレジャー事業では、経営理念である「ステークホルダーと共に」及びブランドスローガンである「ご来園者の笑顔のために」の元に、各運営施設の入園者数と売上確保に努めております。エンターテイメント事業では、継続してCM制作受注及びプロモーション受託に努めております。また投資事業では、引き続き過去に投資した債権の回収を図っております。リスクマネジメントの観点から事業ポートフォリオの再構築についても適宜検討しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高15億31百万円（前年同四半期に比べ5.1%増）、営業利益2億46百万円（前年同四半期に比べ30.4%増）、経常利益2億54百万円（前年同四半期は経常損失79百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億87百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億26百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間の概況をセグメント別に申し上げますと次のとおりであります。

(レジャー事業)

伊豆シャボテン動物公園（平成28年10月22日に名称を変更しております）では、「ナイト冒険（アドベンチャー）ZOO～夜のシャボテン公園～」と題した冒険と動物ふれあいのナイトスポットが期間限定で誕生いたしました。園内中央にある大池を動物ガイドとともに巡る「アニマルボートツアー」がナイトバージョンで登場し、池をボートで進みながら冒険気分での動物たちを観察することができ、大勢のお客様にご覧頂いております。

伊豆ぐらんぱる公園では、ミストの中を駆け抜ける「わくわくバギー」や人が搭乗できる対戦型ロボット「バトルキング」等の新しいアトラクションを次々に導入いたしました。また、「グランイルミ」の営業を8月まで延長し、多数のお客様にご来場頂きました。

伊豆海洋公園ダイビングセンターでは、磯プールをオープンし、期間中毎日11時から「ちびっこ宝探し」14時から「ちびっ子あじのつかみ取り」を開催いたしました。

入園者数は848千人（前年同四半期に比べ0.7%減）、グランイルミへの入場者を加えると900千人となりました。入園者数が減少した理由は、8月後半から連続して発生した台風の影響により入園者が減少したためです。

この結果、レジャー事業では、売上高15億18百万円（前年同四半期に比べ8.7%増）営業利益2億21百万円（前年同四半期に比べ20.0%増）となりました。売上増の主な要因は、グランイルミの開催延長やアトラクションの新規導入によるお客様単価の増加によるものです。

(エンターテイメント事業)

エンターテイメント事業では、CM制作による売上、プロモーション受託や当社が保有するコンテンツの二次使用による著作権収入がありました。

この結果、エンターテイメント事業では、売上高13百万円（前年同四半期に比べ78.6%減）営業損失19百万円（前年同四半期は営業損失19百万円）となりました。

(投資事業)

投資事業では、過去に投資した投資有価証券の売却や債権回収を図りましたが、新規投資による売上はありませんでした。

(その他)

当第2四半期連結会計におけるその他事業につきましては、売上高はありませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億11百万円増加し、5億84百万円となりました。これは主として、現金及び預金が39百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて54百万円増加し、12億23百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が56百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて1億65百万円増加し、18億8百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億3百万円減少し、2億64百万円となりました。これは主として、未払金が82百万円減少したこと等によります。また固定負債は、前連結会計年度末に比べて15百万円減少し、4億30百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1億18百万円減少し、6億94百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて2億84百万円増加し、11億13百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末の50.1%から61.6%となりました。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ34百万円増加し、3億75百万円（前年度四半期は2億9百万円）となりました。

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は、2億6百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、1億69百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は、1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成28年5月13日に発表しました平成29年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、平成28年11月11日に公表いたしました「平成29年3月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想値と実績値との差異並びに通期連結業績予想及び通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度の減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

1 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	340,953	380,779
売掛金	48,013	36,800
未収入金	6,131	14,543
商品等	15,652	14,221
繰延税金資産	50,642	80,948
その他	11,606	57,284
流動資産合計	473,000	584,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	690,695	747,221
土地	269,655	269,655
その他	157,522	151,141
有形固定資産合計	1,117,873	1,168,019
無形固定資産		
ソフトウェア	10,231	8,554
無形固定資産合計	10,231	8,554
投資その他の資産		
投資有価証券	8,128	12,326
長期化営業債権	13,024	13,024
破産更生債権等	754	754
その他	33,200	34,831
貸倒引当金	△13,778	△13,778
投資その他の資産合計	41,328	47,158
固定資産合計	1,169,434	1,223,731
資産合計	1,642,434	1,808,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,371	22,678
未払金	213,710	131,554
前受金	42	84
預り金	19,120	6,217
未払法人税等	32,966	31,290
賞与引当金	16,814	16,615
その他	46,904	55,785
流動負債合計	367,931	264,225
固定負債		
退職給付に係る負債	128,924	127,848
偶発損失引当金	272,564	272,286
その他	43,938	30,117
固定負債合計	445,427	430,251
負債合計	813,358	694,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,091	100,000
資本剰余金	186,500	425,508
利益剰余金	198,388	601,838
自己株式	△11,918	△11,899
株主資本合計	828,062	1,115,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,813	△1,615
その他の包括利益累計額合計	△5,813	△1,615
新株予約権	6,827	-
純資産合計	829,076	1,113,832
負債純資産合計	1,642,434	1,808,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,457,846	1,531,638
売上原価	556,197	555,316
売上総利益	901,648	976,322
販売費及び一般管理費	712,444	729,663
営業利益	189,203	246,658
営業外収益		
受取利息	51	2
為替差益	46	-
受取賃貸料	903	5,963
償却債権取立益	300	288
その他	3,421	2,106
営業外収益合計	4,723	8,360
営業外費用		
支払利息	145	48
為替差損	-	191
敷金償却	540	-
偶発損失引当金繰入額	272,825	-
営業外費用合計	273,510	240
経常利益又は経常損失(△)	△79,583	254,778
特別利益		
新株予約権戻入益	-	7,586
受取保険金	4,814	21,925
債務免除益	1	-
その他	57	4,085
特別利益合計	4,873	33,597
特別損失		
投資有価証券評価損	4,546	-
減損損失	209	-
和解金	20,000	-
その他	-	0
特別損失合計	24,756	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△99,465	288,376
法人税、住民税及び事業税	39,508	31,290
法人税等調整額	△12,133	△30,305
法人税等合計	27,374	984
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△126,840	287,391
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△126,840	287,391

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△126,840	287,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,106	4,198
その他の包括利益合計	△3,106	4,198
四半期包括利益	△129,947	291,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△129,947	291,590
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△99,465	288,376
減価償却費	37,441	60,192
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	38	△1,076
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,481	△198
受取利息及び受取配当金	△51	△2
支払利息	145	48
為替差損益(△は益)	△46	191
減損損失	209	-
株式報酬費用	2,299	758
投資有価証券評価損益(△は益)	4,546	-
償却債権取立益	△300	△288
債務免除益	△1	-
有形固定資産売却損益(△は益)	△57	△4,085
売上債権の増減額(△は増加)	△75,967	11,393
商品等の増減額(△は増加)	378	1,431
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,710	△15,743
前渡金の増減額(△は増加)	1,125	△34,488
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△60,104	△16,499
未収消費税等の増減額(△は増加)	△16,078	7,434
その他の流動負債の増減額(△は減少)	50,437	△52,118
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△380	-
未払法人税等の増減額(△減少額)	△1,424	△4,743
和解金	20,000	-
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	272,825	-
新株予約権戻入益	-	△7,586
受取保険金	△4,814	△21,925
その他	3,540	651
小計	123,065	211,721
利息及び配当金の受取額	396	2
利息の支払額	△518	△12
法人税等の支払額	△8,601	△28,222
法人税等の還付額	-	1,279
和解金の支払額	△20,000	-
保険金の受取額	4,814	21,925
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,156	206,693

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△5,000
投資有価証券の売却による収入	40,200	-
有形固定資産の取得による支出	△194,424	△150,184
預り保証金の返還による支出	△4,000	△12,500
その他	△1,618	△2,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,842	△169,967
財務活動によるキャッシュ・フロー		
その他	△14	△1,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14	△1,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	46	△191
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△60,653	34,825
現金及び現金同等物の期首残高	269,702	340,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	209,048	375,779

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動が認められます。

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	455,091	186,500	198,388	△11,918	828,062
当第2四半期連結会計期間末までの変動額					
資本金の取崩	△355,091	355,091	—	—	—
その他資本剰余金からその他利益剰余金へ振替	—	△116,057	116,057	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	—	—	287,391	—	287,391
自己株式の取得	—	—	—	△10	△10
自己株式の処分	—	△25	—	29	3
当第2四半期連結会計期間末までの変動額合計	△355,091	239,008	403,449	18	287,385
当第2四半期連結会計期間末残高	100,000	425,508	601,838	△11,899	1,115,447

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,396,418	61,412	—	1,457,831	14	1,457,846	—	1,457,846
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	30	54	60,600	60,684	18,000	78,684	△78,684	—
計	1,396,449	61,466	60,600	1,518,516	18,014	1,536,531	△78,684	1,457,846
セグメント利益又は 損失(△)	185,009	△19,215	36,329	202,123	△12,919	189,203	—	189,203

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。
2. 売上高の調整額△78,684千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計			
減損損失	—	—	—	—	209	—	209

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,518,501	13,137	—	1,531,638	—	1,531,638	—	1,531,638
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,051	1,688	63,600	66,340	18,000	84,340	△84,340	—
計	1,519,553	14,826	63,600	1,597,979	18,000	1,615,979	△84,340	1,531,638
セグメント利益又は 損失(△)	221,935	△19,791	43,268	245,412	1,246	246,658	—	246,658

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。
2. 売上高の調整額△84,340千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。